

令和5年度
(27期生)

入校案内

建築大工訓練校



見学者歓迎 / 7月~8月 毎週水曜日

見学は申し込みをしてからご来校下さい。

濃飛建設職業能力開発校



校長 榎間 博幸

本校がめざす訓練教育は、「常に意欲とおもいやりの心で」を校訓として、人に対するマナーとかけがえのない地球に対するマナーをしっかりと身につけることである。

そして、現代社会をとり巻いている偏差値教育にはっきりと決別することです。これは、優れて多様な価値観を評価する日本社会に求められる大切な視点です。すなわち、訓練生と経験豊富な指導員・講師との会話の中からプロになるために自発的に鍛錬するよう仕向けています。

本校が目指すのは、施主様の夢を叶える家造りは木造建築が自然資源を活用した健康住宅として優れた技術があり、従来の軸組工法は「匠の技」によって受け継がれ、その技術は幅広く、奥深い、極めれば限りないほどの工法があります。その第一人者としての大工さんを「匠」の卵として育成することです。

あなたも地球環境に優しい家造りの専門大工「匠」を目指して、仲間と共に頑張ってみませんか。



理事長
藤井保明

今、居住環境が、自然・健康・安全を重点に見つめ直されています。人生の大半を過ごす住宅では木に対する建築が見直され、安全で健康に優れた住宅づくりが要求され、伝統の従来工法が新しい型で展開されています。

私たちは、古来からの「匠の技」を駆使しながら、新しい形での住宅建築産業に貢献しております。伝統の家造りは、この「匠の技」無くしては成り立ちません。

本校は、開校以来 26 年目を迎え、146 名の匠の卵を建設業界に送り出し、その多くが棟梁として活躍し、伝統の「匠の技」を駆使して、本格的木造住宅建築に励んでおります。

老齢化等で益々減少していく日本伝統の本格木造住宅の担い手「匠」を育成し、高度な技術を伝承する人材を育てることが、当訓練校の使命です。

本校において、その人材となり「匠の技」を学びたい君たちの入校を待っております。

入校資格

- 高等学校卒業程度の学力を有すると認められる者
- 本協会加盟建築事業所へ雇用されている場合、給料を得ながら学べます。
(協会に加盟していない事業所は、加盟する必要があります。)

学習科目

建築施工系 木造建築科 (2年課程)

学科	系基礎学科	専攻学科
実技	系基礎実技	専攻実技

集合訓練

毎週水曜日だけ訓練校で訓練を受ける。
(年間/約50日)

倉庫の建て方 / 実習訓練



分散訓練

雇用事業所において、毎週1日指導資格のある者に実技訓練を受ける。
(年間/約40日以上)

指導導

誇れる、15名の指導員・講師の先生が親切に教えます。

技能照査

規定により、岐阜県知事より技能照査合格証書と技能士補の称号が与えられます。

修了証書

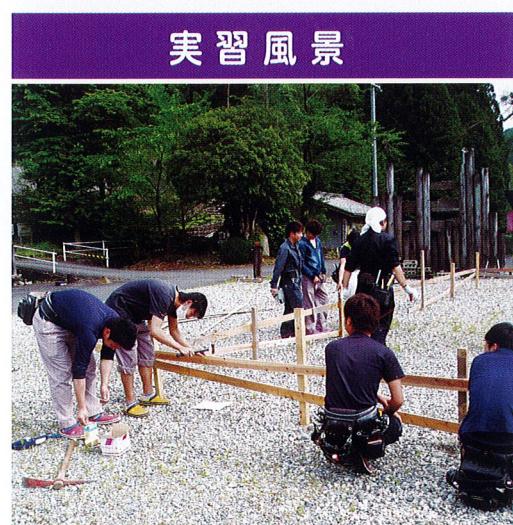
規定により、岐阜県知事より訓練を修了した証が交付されます。

資格取得に利点

- 技能士の資格取得に有利
- 2級建築士の受験に有利
- 職業訓練指導員の資格取得に有利
- 作業主任者免許の取得に有利

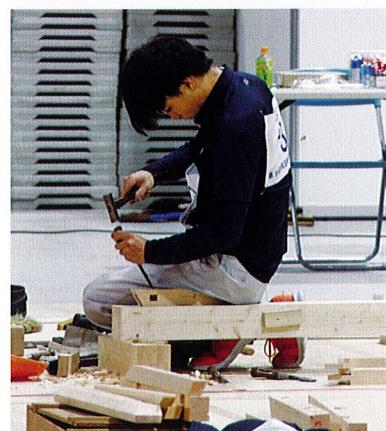
建築CADの短期訓練

パソコンソフトによる住宅建築設計の技術が習得できます。



技能検定事前講習会

1~2級技能士(建築大工)の検定の講習会を実施しています。(5日間)
(本校訓練生以外の方でも可)



令和2年度技能五輪全国大会(愛知県国際展示場)
本校訓練生(2年生)出場

実践技術が早く身につく 建築技能者を目指す諸君よ 来たれ!!

働きながら実力が身につく

令和 5年度 訓練生募集

■ 本校の課程を経て 訓練終了生(第24期生)感想文



渡 邊 楓 真

マル共ホームズ株式会社

まず、2年間この濃飛建設職業能力開発校に派遣して頂いたマル共ホームズの会長をはじめ関係者の方々に感謝申し上げます。私は高校を卒業してマル共ホームズに入社させて頂き、濃飛建設職業能力開発校に通わせて頂きました。私にとってこの2年間はとても貴重な時間で、たくさんの技術や知識を学ぶ事が出来ました。

この2年間で印象に残った事はたくさんありますが、特に印象に残った事は1年生でバスの待合所を造ったことです。現在私達の現場では、ほとんどの建材が工場でプレカット加工されたもので成り立っていますがこのバスの待合所では1から墨付けをし、ホゾの加工までをやりました。墨付けでは墨の間違いが無いかと逐一確認をしながら行いました。

ホゾの加工ではしっかりと墨通りに加工することに苦戦をしながら加工しました。そしてこの加工を通してノミやノコギリ、鉋などたくさんの道具の使い方や刃物の研ぎ方を学ぶことが出来ました。

もう1つ印象に残った事は同期達と技術や知識を磨きあえた事です。加工や墨付けでは分からぬ所をお互いに聞き合ったり確認をしながら作業を進めていき、技術を高め合う事が出来てとても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

これから先大工の仕事をしていく中でたくさんの分からぬ事があると思いますが、この学校で学んだ知識や技術を生かして、一人前の大工になれる様に日々努力していきます。

2年間とても有意義な時間を与えて頂き、改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



江 崎 良 哉

株式会社 新和建設

まず初めに、この大工学校に通う機会を与えて頂いた藤井会長、親方、会社の皆様、そして指導して下さった先生方に感謝申し上げます。

私は高校を卒業して大工という職人の世界に入ったので、技術や知識の面で不安が多くありました。しかし週一度通う学校がその不安を和らげてくれました。入社してすぐは、会社での同期が一人も居なかつたこともあり、仕事の事を話せる相手がいませんでした。

そんな中、学校ではアドバイスを下さる先生が多くてとても救われました。

私がこの学校で印象に残った事は多くありますが、1番はバス停の小屋造りです。今はプレカットが主流ですが、自分達で墨付けから加工をして建前を行なったのがとても良い勉強になりました。まだ見習い2年目で、ノミや鉋を使う機会がほとんどありませんが

和室を任される様になった時に絶対に役立つ経験だったので仕事に生かせる様にしたいと思います。

また、仕口の加工では昔ながらの技術に感心しながら授業を受けていたので、古民家やお寺などに仕口が使われている事を知って物の見方が変わりました。

大工になったからには、昔ながらの技術・知識・知恵など大工学校で学んだ事を忘れず大切にし、自分の仕事に満足せず常に向上心を持って励んでいきます。2年間有意義な時間を与えて頂き本当にありがとうございました。



安 江 栄 人

今井 製材 所

まず初めに、この濃飛建設職業能力開発校に2年間派遣して頂いた今井製材所の関係者の方々に感謝申し上げます。そして、丁寧に分かりやすく指導して下さった指導員の先生方、本当にありがとうございました。

私がこの2年間で特に印象に残っているのは1年生の時にバスの待合所を造ったことです。この待合所造りでは墨付けから加工まで1から自分達でやったのがとても印象深かったです。最初は何も分からず、先生や仲間達と相談しながら1つ1つの作業に苦戦しながら頑張ってやっていたことを今でも覚えています。自分達の手で作り上げられた事はとても達成感があり、大工学校でしか味わえない体験だったと思います。

そして、もう1つ印象に残っていることは仲間達と日々楽しみながら学べたことです。

3人という少ない人数でしたが授業で分からぬ事をお互いに聞き合ったり、実習では共同で作業をしました。自分だけでは出来ないことや分からぬ事も仲間がいたからやり遂げることができたと思っています。この2年間を通して、週1日でしたが現場ではすることのできない体験やここでしか学べない知識を得ることができました。

最後になりますが、2年間とても有意義な時間を与えて下さった学校関係者の皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

制服

本校より訓練校の制服が支給されます。

訓練校にて必要な工具類は、事業所から支給されます。

訓練生派遣事業に要する費用

事業主負担

区分	金額	備考
訓練事業分担金	300,000円	訓練生1人/年間
入校料	5,000円	入校時のみ
授業料	4,000円	月額
傷害保険料	15,400円	2年間(希望による)

(注) その他の必要費用

- ① 会費(会員でない場合は別に定める会費相当額)
 - ② 訓練生の雇用事業所等が所在する市町村において、本校の運営費に対する助成制度が設けられていない場合は、その額(特別負担金)

下記の事業者へ入社する必要があります

■ 本協会加盟事業所一覧 (令和4年度)

(順不同)

今井製材所	下佐見	株田口建築	金山	丸八住宅(株)	黒川
(有)今井製材所	五加	出合製材所	坂ノ東	丸七ホーム(株)	河岐
(株)今井木材	河東	長瀬産業(株)	神土	丸美建設工業(株)	切井
(株)力ネシン	上佐見	(有)新田建設	神土	(有)マルヨ	越原
(株)力ネダイ	切井	(有)フジイ建築	黒川	(株)ミノワ	黒川
(有)力ネヒサ建築	神土	(有)フジイホーム	黒川	(株)三和木	切井
繻繻建築	福地	株古田材木店	五加	好安江建築	上佐見
(有)サトシ建築	黒川	(有)マルキ建築	黒川	安江工務店	神土
(株)シンク	神土	マル共ホームズ(株)	赤河	(有)山三	黒川
(株)新和建設	黒川	(株)丸信住宅産業	中麻生	大和産業(株)	切井
鈴村建築(株)	三川	(株)丸長ホーム	三川	(有)ヤマミツ藤井建築	黒川
田口當繪	神土	(有)マルツ建築	黒川		

●入校又は当協会へ加盟を希望される方は、当協会又は上記の企業へお問い合わせください。

職業訓練法人

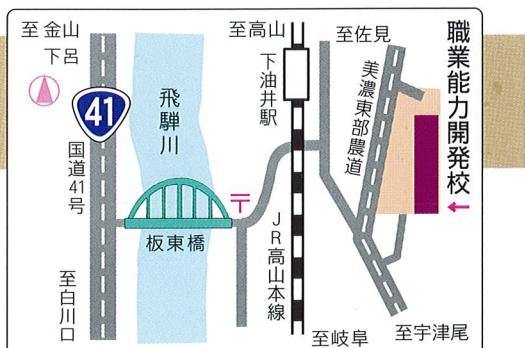
濃飛建設事業者職業訓練協會

〒509-1101 岐阜県加茂郡白川町白山1479番地

TEL 0574-79-0010 FAX 0574-79-0009

URL <https://www.daijuku-kunrenko.com/>

E-mail nohikunrenko@me.ccnw.ne.jp



実践技術が早く身につく
建築技能者を目指す諸君よ 来たれ!!
働きながら実力が身につく

濃飛建設職業能力開発校

令 和
5年度

訓練生募集

場 所

岐阜県加茂郡白川町白山1479番地

(JR高山線下油井駅下車 徒歩5分)

学習科目

建築施工系 木造建築科(2年課程)

基礎学科・専攻学科のほか実技やコンピューターCADによる製図技法の学習など

集合学習

毎週 水曜日(年間／約50日)

入校資格

- 高等学校卒業程度の学力を有すると認められる者
- 本協会加盟事業所へ雇用されていること

※当協会加盟事業所に就職し、給料を得ながら技能を習得します。

※入校を希望の方は、当協会へお問い合わせください。

《資格取得等》

- 技能士補の資格を取得
- 技能士の資格取得に有利
- 2級建築士の受験に有利
- 職業訓練指導員の資格取得に有利
- 作業主任者免許の取得に有利



木造建築技能後継者を 求められておられる… 事業主の皆様へ

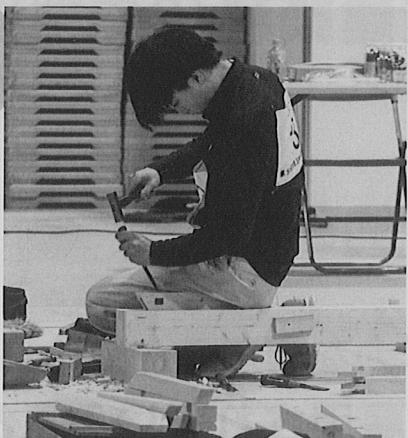
現在 36 名の協会員により順調に運営しております。本協会も 25 年を経過。146 名の卒業生（2 年間の教育課程を修了）を送り出すことができ、在校生 7 名が訓練に励んでおります。

本校へ訓練生を派遣するためには、当協会に加盟していただく必要があります。どうかこの機会に、貴社の将来を展望し、当協会へ加盟されますようお誘い申し上げます。



当協会の会員として加盟されますと

- 若年従業員を訓練生として本校へ派遣する事が出来ます。（下記のとおり応分の分担金が必要）
- 加盟事業主が従業員を採用される場合の求人のお手伝いをします。
- 技能後継者育成に関する情報や資料を提供いたします。
- 建築 CAD や建築技能士・フォークリフト等の短期養成講座に参加できます。



令和2年度技能五輪全国大会
(愛知県国際展示場)
本校訓練生(2年生)出場

訓練生派遣事業主に要する費用

区分	金額	備考
訓練事業分担金	300,000円	訓練生 1 人年間
入校料	5,000円	入校時のみ
授業料	4,000円	月額
傷害保険料	15,400円	2年間（希望による）

※キャリア形成促進助成金… 訓練生が雇用保険の被保険者である場合には、その者の給料月額により、給付金が支給されます。

見学者歓迎 7月～8月 毎週水曜日

見学は申し込みをしてからご来校下さい。

- 入校又は当協会へ加盟を希望される方は、当協会へお問い合わせください。

職業訓練法人
濃飛建設事業者職業訓練協会

〒509-1101 岐阜県加茂郡白川町白山1479番地
TEL 0574-79-0010 FAX 0574-79-0009
URL <https://www.daiku-kunrenko.com/>
E-mail nohikunrenko@me.ccnw.ne.jp

